



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3443 URL https://www.kawada.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,222	12.8	369	—	1,047	—	854	—
2020年3月期第1四半期	26,783	2.1	△1,130	—	△264	—	50	△94.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 708百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	145.49	145.31
2020年3月期第1四半期	8.67	8.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	138,933	60,833	43.2
2020年3月期	139,093	60,630	43.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 60,082百万円 2020年3月期 59,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	△9.5	3,500	△48.2	3,800	△55.5	2,500	△61.2	425.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	5,914,870株	2020年3月期	5,914,870株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	38,656株	2020年3月期	38,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	5,876,454株	2020年3月期1Q	5,857,896株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
受注、販売及び繰越高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高30,222百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益369百万円（前年同四半期は営業損失1,130百万円）、経常利益1,047百万円（前年同四半期は経常損失264百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は854百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益50百万円）となりました。受注高につきましては21,270百万円（前年同四半期比29.0%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、売上高は、鉄骨事業において若干減少したものの、橋梁事業において高速道路会社をはじめとした大型工事が順調に進捗したことに加え、前連結会計年度では発注者と施工方法の変更協議中で工事進行基準の適用を見送っていた一部工事において、当第1四半期連結累計期間中に協議が終了し、工事進行基準を適用したことなどで、全体では15,816百万円（前年同四半期比20.5%増）となりました。損益面は、橋梁事業、鉄骨事業ともに当第1四半期連結累計期間での大型設計変更の獲得に至らず、原価が先行する形となったことにより営業損失686百万円（前年同四半期は営業利益142百万円）となりました。受注高は、鉄骨事業においては首都圏再開発を中心に受注を積み重ねることができたものの、橋梁事業において厳しい受注環境が続く中、受注を伸ばすことができなかつたため、鉄構セグメント全体の受注高は4,337百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、前連結会計年度からの豊富な繰越高を抱える中、新設事業が順調に進捗したことに加え、床版取替工事の更新事業での大型設計変更の獲得などで、売上高は9,750百万円（前年同四半期比35.5%増）となりました。損益面は、新設事業、更新事業とも設計変更が獲得できたことにより営業利益1,604百万円（前年同四半期は営業損失473百万円）となり、大幅に改善させることができました。受注高は、高速道路会社発注の大型更新工事を中心に受注を獲得できたことにより、11,722百万円（前年同四半期比94.4%増）となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における次期繰越高は前年同四半期を大幅に上回る水準となっています。

（建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、売上高は、前連結会計年度に受注した大型システム建築の施工開始時期が当第2四半期以降となることから3,181百万円（前年同四半期比34.6%減）となりました。損益面は、売上ボリュームが落ちる中でも設計変更獲得と原価低減に努めてきた結果、採算性が改善し、営業利益345百万円（前年同四半期は営業損失55百万円）となりました。受注高は、システム建築を中心に積み重ねることができたことで、前年同四半期の水準を上回る2,635百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

（その他）

その他におきましては、売上高は2,293百万円（前年同四半期比12.7%減）となり、損益面につきましては、航空機使用事業を中心に売上高が減少したことにより営業損失266百万円（前年同四半期は営業損失128百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」は138,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円（ $\Delta 0.1\%$ ）減少しました。これは主に、現金預金が2,953百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が3,361百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は78,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ363百万円（ $\Delta 0.5\%$ ）減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が2,766百万円減少し、未成工事受入金が1,676百万円増加したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は60,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円（ $+0.3\%$ ）増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が384百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.0%から43.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、2020年5月22日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、今後の感染拡大状況にもよりますが、現時点では軽微であると判断しています。今後業績予想に修正の必要が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,361	12,314
受取手形・完成工事未収入金等	55,898	52,536
未成工事支出金	3,337	2,830
その他のたな卸資産	1,150	1,177
その他	4,916	3,904
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	74,658	72,759
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,849	5,816
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	3,055	3,274
航空機（純額）	989	940
土地	14,821	14,927
リース資産（純額）	1,617	1,554
建設仮勘定	423	349
有形固定資産合計	26,757	26,861
無形固定資産	863	850
投資その他の資産		
投資有価証券	2,090	2,314
関係会社株式	31,571	33,179
繰延税金資産	2,323	2,154
その他	1,355	1,341
貸倒引当金	△527	△527
投資その他の資産合計	36,812	38,462
固定資産合計	64,434	66,173
資産合計	139,093	138,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	33,147	30,380
短期借入金	11,440	10,800
1年内返済予定の長期借入金	4,652	4,644
1年内償還予定の社債	5	155
リース債務	805	662
未払法人税等	872	172
未成工事受入金	4,105	5,782
賞与引当金	2,189	1,070
完成工事補償引当金	249	273
工事損失引当金	1,946	1,912
その他	3,773	6,016
流動負債合計	63,187	61,871
固定負債		
社債	100	700
長期借入金	8,530	8,831
リース債務	916	992
繰延税金負債	55	51
再評価に係る繰延税金負債	1,475	1,475
役員退職慰労引当金	482	478
退職給付に係る負債	3,242	3,274
資産除去債務	288	240
負ののれん	131	126
その他	54	58
固定負債合計	15,276	16,229
負債合計	78,463	78,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,283	5,283
資本剰余金	10,762	10,749
利益剰余金	40,883	41,267
自己株式	△107	△108
株主資本合計	56,822	57,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,444	1,307
土地再評価差額金	979	979
為替換算調整勘定	594	594
退職給付に係る調整累計額	16	8
その他の包括利益累計額合計	3,034	2,890
新株予約権	2	2
非支配株主持分	771	748
純資産合計	60,630	60,833
負債純資産合計	139,093	138,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	26,783	30,222
売上原価	25,435	27,549
売上総利益	1,347	2,673
販売費及び一般管理費	2,477	2,303
営業利益又は営業損失(△)	△1,130	369
営業外収益		
受取利息及び配当金	28	22
受取賃貸料	36	37
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	927	668
補助金収入	58	116
その他	43	95
営業外収益合計	1,098	944
営業外費用		
支払利息	67	87
賃貸費用	126	128
その他	39	50
営業外費用合計	232	267
経常利益又は経常損失(△)	△264	1,047
特別損失		
減損損失	—	4
特別損失合計	—	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△264	1,043
法人税、住民税及び事業税	13	94
法人税等調整額	△325	97
法人税等合計	△311	192
四半期純利益	47	850
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	50	854

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	47	850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	157
退職給付に係る調整額	△36	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	117	△290
その他の包括利益合計	△48	△141
四半期包括利益	△0	708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	710
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,940	6,494	4,858	24,292	2,490	26,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	187	702	4	893	137	1,031
計	13,127	7,196	4,862	25,186	2,628	27,815
セグメント利益又は損失(△)	142	△473	△55	△386	△128	△514

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△386
「その他」の区分の損失(△)	△128
セグメント間取引消去	△177
全社費用(注)	△668
その他の調整額	230
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,585	9,454	3,124	28,164	2,058	30,222
セグメント間の内部売上高 又は振替高	231	296	57	584	235	820
計	15,816	9,750	3,181	28,749	2,293	31,043
セグメント利益又は損失(△)	△686	1,604	345	1,263	△266	997

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,263
「その他」の区分の損失(△)	△266
セグメント間取引消去	△174
全社費用(注)	△629
その他の調整額	177
四半期連結損益計算書の営業利益	369

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しています。

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	5,133	31.1	4,337	20.4	△795	△15.5
土木	6,031	36.6	11,722	55.1	5,691	94.4
建築	2,459	14.9	2,635	12.4	176	7.2
その他	2,865	17.4	2,575	12.1	△290	△10.1
合計	16,489	100.0	21,270	100.0	4,781	29.0

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	13,127	47.2	15,816	51.0	2,689	20.5
土木	7,196	25.9	9,750	31.4	2,554	35.5
建築	4,862	17.5	3,181	10.2	△1,681	△34.6
その他	2,628	9.4	2,293	7.4	△334	△12.7
合計	27,815	100.0	31,043	100.0	3,227	11.6

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (2019年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2020年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	80,150	54.4	57,030	45.9	△23,120	△28.8
土木	49,165	33.4	54,137	43.6	4,972	10.1
建築	16,183	11.0	11,568	9.3	△4,614	△28.5
その他	1,747	1.2	1,500	1.2	△247	△14.2
合計	147,246	100.0	124,237	100.0	△23,009	△15.6

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。